

平成13年度 活動報告

(2001年度)



本館ロビーに新設したクジラコーナー「親しむ博物館づくり事業」により作成

1. 運営	82
2. 教育普及	85
3. 調査研究・資料収集	93
4. 文化財保護	95

1. 運 営

1. 平成13年度の投資的事業

事業名	予算	内 容	担当
身近な環境調査事業	859	湿地林, 海岸林, 河畔林などの緑地調査	内田
知床ライブラリー第4巻編集事業	120	第4巻「知床の魚類」の編集	増田
電気暖房制御盤改修事業	1,446	博物館本館の電気暖房制御盤の修繕	宇仁
国営畑総緊急発掘調査事業	28,719	国営畑地帯総合土地パイロット事業に係る発掘調査	松田
国道駐車帯緊急発掘調査事業	11,497	国道334号線の駐車帯設置に係る発掘調査	松田
下水道緊急発掘調査事業	9,359	ウトロ地区の下水道工事に係る発掘調査	松田
文化財保護事業(補正追加分)	437	ウトロ小中学校グラウンド造成工事に係る発掘調査	松田
IT講習会事業	6,130	総務省が進めるIT講習会の実施	宇仁
「親しむ博物館づくり事業」	1,663	博物館への文部科学省委嘱事業	宇仁

2. 予算(当初)

1) 博物館費

(千円)

費 目	予 算	費 目	予 算
報酬	141	飼料費	251
給料	17,057	役員費	1,616
職員手当等	10,820	通信運搬費	704
共済費	4,277	手数料	896
賃金	281	保険料	16
報償費	210	委託料	8,518
旅費	931	使用料及び賃借料	663
需用費	10,581	原材料費	120
消耗品費	1,350	備品購入費	870
食料費	20	負担金補助及び交付金	110
印刷製本費	2,194	公課費	26
燃料費	600		
修繕料	1,966	合 計	56,221

2) 文化財保護費

(千円)

費 目	予 算
報酬	36
賃金	1,096
旅費	151
需用費	133
消耗品費	25
印刷製本費	19
修繕料	20
光熱水費	69
役員費	63
通信運搬費	63
負担金補助及び交付金	125
合 計	1,604

3) 国営畑総緊急発掘調査費(大栄8・9遺跡)

(千円)

費 目	予 算	費 目	予 算	費 目	予 算
給料	2,158	消耗品費	1,051	通信運搬費	173
職員手当等	1,843	印刷製本費	757	手数料	119
共済費	2,115	燃料費	201	委託料	1,010
賃金	17,498	修繕料	54	使用料及び賃借料	1,489
旅費	163	光熱水費	88		
需用費	2,151	役員費	292	合 計	28,719

4) 下水道緊急発掘調査費 (ウトロチャシコツ岬下B遺跡) (千円)

費目	予算	費目	予算	費目	予算
共済費	1,307	修繕料	10	委託料	1,134
賃金	5,762	光熱水費	62	使用料及び賃借料	365
需用費	618	役務費	173	合計	9,359
消耗品費	210	通信運搬費	55		
印刷製本費	336	手数料	118		

5) 国道駐車帯緊急発掘調査費 (6月補正: オンネベツ川西側台地遺跡) (千円)

費目	予算	費目	予算	費目	予算
給料	1,079	消耗品費	526	手数料	119
職員手当等	366	印刷製本費	547	委託料	1,157
共済費	1,132	燃料費	33	使用料及び賃借料	538
賃金	5,798	燃料費	11	合計	11,497
旅費	81	役務費	229		
需用費	1,117	通信運搬費	110		

6) 文化財保護費 (7月補正追加分:
ウトロ高原4遺跡) (千円)

費目	予算
共済費	3
賃金	432
合計	437

7) IT講習会費 (千円)

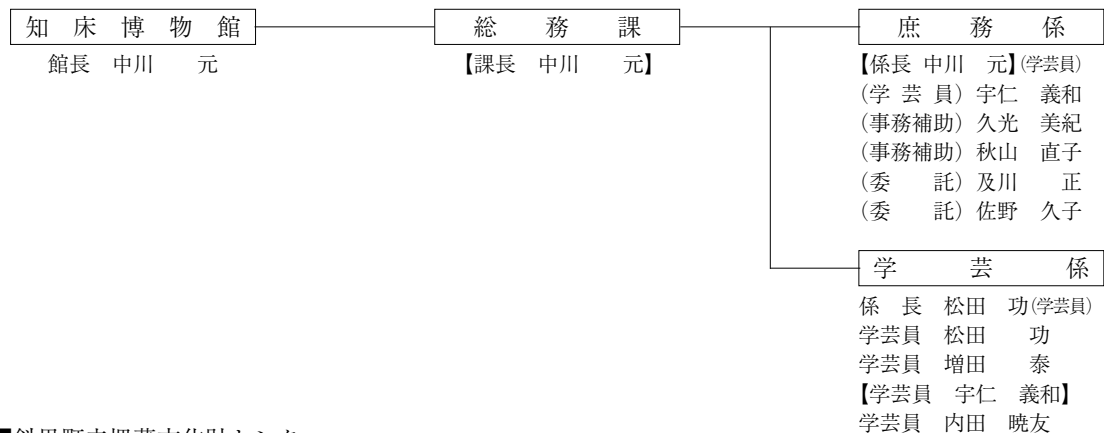
費目	予算	費目	予算	費目	予算
職員手当等	360	需用費	451	通信運搬費	93
共済費	43	消耗品費	341	手数料	108
賃金	287	印刷製本費	110	使用料及び賃借料	1,848
報償費	2,940	役務費	210	合計	6,130

8) 文部科学省委嘱「親しむ博物館づくり事業」(事業収支決算) (千円)

収入の部		支出の部	
費目	決算額	費目	決算額
国庫支出金	1,662,550	諸謝金	50,000
銀行預金利息	27	通信運搬費	94,500
		借料及び損料	210,000
		委託費	630,000
		雑役務費	41,620
		消耗品費	636,457
合計	1,662,577	合計	1,662,577

3. 組織・職員

■斜里町立知床博物館



■斜里町立埋蔵文化財センター



■博物館協議会（任期：平成13年4月1日～平成15年3月31日）

会長 永山 衛 委員 中川 勝彦 小野 博規 高橋 公栄 村上 涼子
副会長 高木 寿一 植木 玲一 高橋 信広 岩見 慶一 相内 勝也

■文化財調査委員会（任期：平成13年4月1日～平成15年3月31日）

会長 河村 淳史 副会長 桂田 敏二 委員 河面 正吾 島多 哲夫 松本 宣親

4. 博物館利用状況

全入館者

月	一般	高校生	小中学生	幼児	計	無料入館者	開館日数	一日平均入館者(有料)
4月	745	127	89	58	1,019	455	26	39 (22)
5月	1,014	10	120	33	1,177	543	27	44 (23)
6月	1,369	8	241	59	1,677	929	26	65 (29)
7月	2,338	316	369	124	3,147	1,709	26	121 (55)
8月	1,717	54	445	208	2,424	838	27	90 (59)
9月	1,407	119	445	123	2,094	989	27	78 (41)
10月	1,080	37	96	49	1,262	614	27	47 (24)
11月	688	3	83	7	781	522	24	33 (11)
12月	301	0	93	41	435	336	25	17 (4)
1月	319	14	67	51	451	275	21	21 (8)
2月	629	4	38	58	729	429	23	32 (13)
3月	657	6	52	53	768	466	26	30 (12)
合計	12,264	698	2,138	864	15,964	8,105	305	52 (26)

団体入館者

月	町内見学者数		町外見学者数		合計	
	件	人	件	人	件	人
4月	1	22	3	286	4	308
5月	0	0	5	90	5	90
6月	5	149	8	180	13	329
7月	2	65	13	462	15	517
8月	2	141	6	202	8	343
9月	5	147	13	668	18	815
10月	3	43	15	411	18	454
11月	1	16	4	76	5	92
12月	1	22	1	23	2	45
1月	2	45	2	48	4	93
2月	1	44	4	73	5	117
3月	1	33	2	33	3	66
合計	24	727	76	2,552	100	3,279

2. 教育普及活動

1. ロビー展・特別展

1) 第23回特別展「知床の漁業」

樹木の内皮製の漁網、木製の浮きやろくろなど大正から昭和前期の収蔵漁具資料を中心に、網走神社蔵の船絵馬などを展示した。現代の漁具では自動イカ釣機やウニ漁用磯舟、潜水器、刺網などを借用したほか、知床半島から網走沿岸で行われているホタテガイけた網漁、毛ガニかご漁、さけます定置網漁、地引き網などを撮影し、ビデオ映像を上映した。

2) ロビー展

主催事業3回、貸し会場1回の合計4回を実施した。開館日数は合計129日で、特別展と合わせロビーの展示会場使用はのべ183日に及んだ。

3) 移動博物館

ウトロ小中学校を会場に、ウトロ遺跡神社山出土の土器、石器、骨格器などを展示。写真パネルやウトロの各遺跡で実施していた発掘の様子も紹介

期 間	テ ー マ	内 容	参加者	担当
(ロビー展)				
5月6日終了	写真展「氷の下の世界」	地元漁師である加藤英樹氏の写真展	1,481	増田
9月1日～21日	しれとこ植物画展	しれとこ植物画サークルの第6回作品展	1,518	内田
12月1日～22日	はた織り会作品展	はた織りの会会員と日の出学園園生との作品展	287	松田
12月27日～2月14日	大栄小学校版画展	博物館資料を題材にした全校児童の作品展	846	宇仁
(特別展)	知床の漁業	斜里の漁業を中心にした歴史と現代	1,924	宇仁
10月2日～11月25日	5事業	(延べ合計)	6,056	
6月1日～11月7日	発掘資料展	ウトロ小中学校での出土品展示	-	松田

2. 講演会

特別展のテーマにあわせ、海の生き物について人との関わりを含む内容の講演会を3回実施した。会場はいずれも斜里町公民館「ゆめホール知床」公民館ホールを使用した。

期 日	演 題	講 師	場 所	参加者	担当
11月7日	イカはしゃべるし空も飛ぶ (特別講演会)	奥谷喬司	日本のイカ学の歴史と世界のイカ学の紹介	96	宇仁
2月23日	海鳥から見る海洋環境の保護	小城春雄	漁業やプラスチックによる海洋汚染と海鳥保護	27	宇仁
3月2日	オホーツクタワーから見た流水の世界	濱岡荘司	クリオネなどプランクトンを中心に生態とビデオ	31	宇仁
	3事業		(延べ合計)	154	

3. 博物館講座

43講座を実施、376人が参加した。昨年に引き続き体験・学習一体型講座の「考古シリーズ」「植物シリーズ」「ミュージアムワーク」、小学生向け通年参加型の「知床森と海の学校」を開催した。「考古シリーズ」では昨年に引き続き竪穴住居の復元を行ない、「海と森の学校」では5回を羅臼町教育委員会との共同開催とし、両町の小学生の交流をはかった。また、道立文書館との共催で古文書解読を実施した。これらのうち海の生き物に関連した講座は、文部科学省委嘱「親しむ博物館づくり事業」として実施した。

1) 体験・学習一体型講座

考古シリーズ

期 日	講 座 名	内 容	場 所	参加者	担当
5月19日	竪穴住居作り	カラマツ材の皮むき作業	博物館	11	松田
6月2日	竪穴住居作り	竪穴上屋用ヨシ刈り	ニクル沼	10	松田
9日	ヨシ刈り	竪穴上屋用ヨシ刈り	ニクル沼	11	松田
30日	道具作り「骨釣針」	シカ角で釣針を作る	博物館	5	松田
7月14日	竪穴作り	竪穴の上屋作り	博物館	10	松田
8月5日	縄文ハンバーグと薫製作り	製作と竪穴住居での試食	博物館	8	松田
30日	土器作り「野焼き」	製作土器の野焼き体験	博物館	3	松田
	7講座企画（7講座実施）		（合計）	58	

植物シリーズ

期 日	講 座 名	内 容	場 所	参加者	担当
5月20日	来運の植物	猿間川の河畔林植生の観察	来運	11	内田
6月24日	オシンコシン	スゲ属植物の観察と同定	オシンコシン	6	内田
7月15日	羅臼岳	高山植物の観察	羅臼岳	8	内田
8月19日	羅臼湖	高山の高層湿原の観察	羅臼湖	7	内田
9月2日	コケ・シダ観察会	隠花植物の観察と同定	博物館	4	内田
	5講座企画（5講座実施）		（合計）	36	

ミュージアムワーク

期 日	講 座 名	内 容	場 所	参加者	担当
5月26日	昆虫調査	地表面性甲虫の採集・同定	町内各防風林	4	松田
27日	昆虫調査	〃	〃	4	〃
6月16日	昆虫調査	〃	〃	4	〃
17日	昆虫調査	〃	〃	3	〃
21日	昆虫調査	〃	〃	3	〃
22日	昆虫調査	〃	〃	3	〃
8月11日	昆虫調査	〃	〃	1	〃
	11講座企画（7講座実施）		（合計）	22	

知床海と森の学校

期 日	講 座 名	内 容	場 所	参加者	担当
5月20日	入校式・説明会	知床海と森の学校と講座内容の説明	博物館	24	増田
6月17日	ホエールウォッチング※	羅臼沖でクジラ観察会	羅臼	20	増田
7月20日	海の生き物観察会※	チャシコ岬での磯の生物観察会	ウトロ	中止	増田
9月9日	火山ウォッチング※	雨天のため幌別園地散策	硫黄山	13	増田
30日	知床岬クリーン作戦※	悪天のため羅臼周辺散策	羅臼	15	増田
10月21日	サケ・マス観察会※*	遡上するサケマスを観察	幌別川	22	増田
11月10日	夜の動物観察会	夜行性の動物を観察	幌別岩宇別	19	増田
12月28日	もちつき大会	もちつきを通して日本の伝統文化を知る	博物館	22	松田
1月27日	バスハイク*	流水タワー・紋別トッカリセンター見学	紋別市	15	増田
2月24日	オジロワシ・オオワシ観察会※*	観察船からの流水上の動物観察	羅臼町	15	増田
	10講座企画(9講座実施)		(合計)	165	

※羅臼町教委と共催、*「親しむ博物館づくり事業」

2) 一般の博物館講座

期 日	講座名	内容	場 所	参加者	担当
4月22日	サケの赤ちゃん大集合	サケ稚魚の放流体験と見学	標津サーモン科学館	14	宇仁
6月22日	火星大接近(中止)	悪天候のため中止	博物館	-	松田
7月5日	部分月食とリニア彗星を見よう(中止)	中止	博物館	-	松田
8月7日	夏休み体験講座①	自然観察とホエールウォッチング	知床半島沿岸	23	宇仁
8日	②	川の生き物観察会	幾品川	17	増田
9日	③	植物観察、おし葉づくり体験	博物館	18	内田
10日	④	はた織り体験	博物館	19	松田
12日	⑤	土器づくり	博物館	16	松田
12日	ペルセウス座流星群を見よう	悪天候のため中止	博物館	-	松田
9月2日	野付湾アザラシ観察会*	チャーター船でのアザラシ上陸場観察	別海町尾岱沼	16	宇仁
16日	キノコ講演会・同定会	北見地方キノコの会による講演展示同定	博物館	29	内田
10月13日	古文書講座①	古文書解説の基礎と近世文書	ゆめホール知床	19	中川
14日	古文書講座②	〃(道立文書館と共催)	〃	12	〃
11月18日	サケ産卵観察と採卵実習*	水槽での産卵観察と採卵受精	標津サーモン科学館	12	宇仁
18日	しし座流星群(中止)	悪天候のため中止	博物館	-	松田
12月9日	はた織り体験講座	はた織り会指導によるはた織り体験	博物館	11	松田
16日	しめ縄づくり	わらを材料とした伝統文化の体験	博物館	22	宇仁
28日	もちつき大会	日本年中行事のもちつきを体験	博物館	89	松田
1月27日	バスハイク*	流水タワー・紋別トッカリセンター見学	紋別市	35	増田
3月10日	水の下の世界ウォッチング*	ドライスーツ着用で流水下の生物観察	ウトロ	24	増田
	20講座企画(16講座実施)		(合計)	376	

*「親しむ博物館づくり事業」として実施



第23回特別展「知床の漁業」展示会場



博物館講座「水の下の世界ウォッチング」



考古シリーズ「竈穴住居作り」



夏休み体験講座「おし葉づくり体験」

4. 生涯学習連携事業

町内の小中学校との連携による授業指導や自然観察会、体験発掘を実施したほか、町教育委員会主催の高齢者講座「生きがい大学」の講師を行った。

1) 学校教育連携

期 日	事 業 名	内 容	場 所	参加者	担当
5月15日	ウトロ小学校クマ授業	クマ遭遇時の対処法など	ウトロ小学校	33	増田
16日	越川小学校観察会	春の自然観察	越川小学校	8	増田
22日	斜里小学校総合学習	森の生態系とサケの一生の講義	斜里小学校	36	内田
6月7日	ウトロ小学校自然歴史体験授業	チャシコツ岬下B遺跡発掘体験	ウトロ	20	松田
		海岸生物の観察		20	増田
	斜里小学校ネイチャークラブ	クラブ指導	斜里小学校	31	増田
8日	大栄小学校観察会	海岸の植物観察	大栄海岸	13	内田
14日	斜里小学校ネイチャークラブ	クラブ指導	斜里小学校	15	増田
	朝日小学校発掘体験	チャシコツ岬下B遺跡発掘体験	朝日小学校	34	松田
15日	北海道大学獣医学部	野生動物学、総合授業	北海道大学	40	増田
21日	斜里町新任教員初任者研修	斜里町の自然について解説	博物館	4	内田
	斜里小学校ネイチャークラブ	クラブ指導	斜里小学校	15	増田
26日	大栄・三井小学校合同学習	防風林の植物の観察会	大栄防風林	24	内田
28日	斜里小学校ネイチャークラブ	クラブ指導	斜里小学校	15	増田
7月4日	ウトロ中学校1年観察会	幌別台地周辺の森で自然観察会	ウトロ	20	増田
6日	朝日小学校公開研究会	総合学習	朝日小学校	34	増田
10日	三井小学校知床学習	知床五湖とボンホロ沼にて自然観察	ウトロ	43	増田
11日	大栄小学校観察会	生徒の研究発表会	大栄小学校	12	内田
12日	越川小学校天体観察会	天体観察	越川小学校	7	増田
18日	日の出学園天体観察会	夏の星座と惑星観察	峰浜海岸	38	松田
	三井小学校海浜学習事後学習	自然観察の事後学習	博物館	10	増田
25日	武蔵高校自然学習	知床の自然学習	峰浜自然休養村	20	増田
9月5~7日	ウトロ小中学校発掘体験	ウトロ高原4遺跡発掘体験	ウトロ	42	松田
9日	ウトロ小学校発掘体験	ウトロ高原4遺跡発掘体験	ウトロ	12	松田
11日	斜里高校発掘体験	ウトロ高原4遺跡発掘体験	ウトロ	34	松田
15日	発掘体験学習	ウトロ高原4遺跡発掘体験	ウトロ	6	松田
18日	越川小学校自然観察会	巣箱のメンテナンス、モモンガ	越川	7	増田
25日	峰浜小学校研修	小学校の林の植物観察指導	峰浜小学校	6	内田
25~26日	斜里高校発掘体験	ウトロ高原4遺跡・オンネベツ川西側台地遺跡発掘体験	発掘現場	70	松田
26日	網走管内理科教育研究会	博物館周辺の植物観察	博物館	11	内田
28日	斜里高校発掘体験	ウトロ高原4遺跡・オンネベツ川西側台地遺跡発掘体験	発掘現場	33	松田
10月5日	大谷幼稚園自然学習会	自然観察サケマス観察	来運水の学校	95	増田
	網走ブロック複式教育研究大会	古代生活チャレンジ隊（住居復元）	大栄小学校	10	松田
16日	大栄小学校堅穴住居体験	堅穴住居上屋作りを体験	博物館	8	松田
	町教振理科部会研修	秋の森林観察	オシンコシン	18	内田
25日	動物のはなし	リスのお話	大谷幼稚園	50	増田
11月9日	斜里中学校2年生職業体験学習	野外観察園整備と発掘整理作業体験	博物館	2	中川
27日	町教振研修	斜里の近世近代史	博物館	10	宇仁
		斜里町の自然	博物館	7	増田
11月28日	朝日小学校総合的な学習	生徒の研究発表会	朝日小学校	86	内田
	28事業			999	

2) 生きがい大学専門課程

期 日	時 間	会 場	テ ー マ	受講数	担当
4月26日	13:00～15:00	映像展示室	開講式及び知床の自然と歴史(概論)	35	中川
5月31日	13:00～15:00	映像展示室	日露国境画定史①「国境の画定とソ連崩壊以後の動き」	34	宇仁
6月7日	10:00～12:00	映像展示室	日露国境画定史②「江戸時代の国境画定」	41	宇仁
7月12日	13:00～15:00	映像展示室	ヒグマと出会わないために・ヒグマと出会ったら	34	増田
8月9日	13:00～15:00	映像展示室	ヨーロッパを震撼する口蹄病・狂牛病	35	増田
9月6日	10:00～12:00	映像展示室	知床半島における自然保護の現状と課題	43	中川
10月18日	10:00～12:00	映像展示室	今年度町内で実施した発掘調査の結果について	39	松田
11月8日	13:00～15:00	映像展示室	湿原生態系とその保全について	35	内田
22日	10:00～12:00	映像展示室	絶滅危惧植物について現状と保全について考える	40	内田
29日	13:00～14:45	映像展示室	絶滅危惧動物とまとめ	36	中川
	10講座	(のべ人数)		442	

5. 研修受け入れ

北海道大学獣医学部の学生実習と学芸員館務実習を実施した。

(1) 獣医学学生実習

期 日	所 属 大 学	内 容	人 員	担当
9月19～2日	北海道大学	大学における単位取得実習。環境保全課・知床自然センターと共催	9	増田
3月8～15日	〃	〃	9	増田

(2) 博物館実習

期 日	所 属 大 学	内 容	人 員	担当
9月4～12日	麻生大学 帯広大谷短期大学 北海道武蔵女子短期大学	博物館実習(民族資料・動物資料 ・植物資料取り扱い、発掘実、講座補助など)	1 2 1	各学 芸員



学芸員館務実習



大谷幼稚園自然観察会(来運)



越川小学校自然観察会「巣箱のメンテナンス」



発掘体験

6. 学校，社会教育，その他団体の研修，見学，視察等

期 日	学 校 名 他	人数	期 日	学 校 名 他	人数
4月19日	大谷幼稚園	22	11日	斜里高校	46
21日	東京農業大学食品科学科	131	12日	神奈川県立港北高校	76
25日	釧路緑ヶ丘高校	139	13日	大栄小学校	10
5月10日	網走バスガイド研修	10	14日	大谷幼稚園	26
18日	琵琶瀬老人クラブ	34	16日	ボーイスカウト	83
19日	開明中学・高校修学旅行下見	3	18日	小清水町浜小清水僻地保育所	33
6月6日	旭老人クラブ	31		ウトロ小学校1年生	18
7日	白糠町四つ葉クラブ	21		東京農業大学	16
8日	ウトロ小学校4年生	18		網走市立東小学校	58
19日	福井県今立町民生児童委員	34	21日	大谷幼稚園	33
21日	斜里小学校	71	24日	西春別駅前長命クラブ	21
	神浦老人クラブ	15	26日	管内理科研究会	17
	斜里町新任教員初任者研修	6	28日	竹富島波座間部落芸能団	48
22日	朝日小学校5年生	39	10月3日	弘前市商工会	8
	通園センター	15	9日	朝日旅行会	30
24日	小清水町一区自治会婦人部	18		大谷幼稚園	19
29日	網走支庁消防署長会議	27	11日	ライオンズクラブ	8
7月3日	開明高校	131	16日	紋別市寿大学	93
4日	〃	92	18日	網走市身体障害者福祉協議会	34
	川上小学校1～3年生	30	21日	美幌仲町老人クラブ	24
	森吉町議会	8		北見市相内とさわ老人クラブ	40
11日	通園センター	35	23日	群馬県尾島町議会議員	26
15日	道東サッシセンター	22		横浜インターナショナルスクール	32
21日	滋賀県秦荘町助役	7	25日	斜里小学校4年生	13
25日	北海道総務部長	4		斜里中学校障害児学級	11
26日	武蔵高校	10	30日	東藻琴村高齢者就労センター	31
28日	東京農業大学	39	11月15日	ウトロ小学校5年生	16
	羅臼町リハビリ教室	34	17日	富良野市消防	17
	弘前市消防団	16	27日	訓子府町若返り学校	40
8月1日	はまなす保育所	55	28日	北海道観光連盟	4
8日	文光保育園	86	12月11日	西竹老人クラブ	23
22日	立正校成会	17	20日	大谷幼稚園	22
23日	千葉市子供会	30	1月13日	来運自治会	8
24日	明和大学（美幌町生きがい大学）	112	18日	双葉保育園	37
28日	岐阜老人クラブ	23		太田高校定時制	9
	幕別町森林組合	12	2月15日	牧園町議会	7
	群馬県板倉町議会	8	21日	アメリカフロリダ保護区管理官	5
9月4日	川北小学校4年生	14	28日	大谷幼稚園	44
6日	中標津小学校4年生	78	3月20日	文光保育園	33
	標津小学校	62		79団体	2,678

7. 出版・広報活動

特別展図録1回，町広報紙折込付録「博物館のひろば」4回を発行したほか，広報紙裏表紙に「ふしぎ博物館」を6回連載した（カラー号のみ）。なお，予算措置の都合上，知床ライブラリー第4巻は編集のみ行い，刊行は来年度当初とした。

出版物名	発行期日	内 容	執筆	規 格	対 象	部 数
第23回特別展図録	2001.10.2	知床の漁業	宇仁	A4変版36P	一般	1,000
博物館のひろばNo.79	2001.4.1	朱円環状土籬から周堤墓へ	松田	A4版4P	町内全戸	6,500
博物館のひろばNo.80	7.1	菅の季節	内田	A4版4P	町内全戸	6,500
博物館のひろばNo.81	11.1	堅穴住居復元作業	松田	A4版4P	町内全戸	6,500
博物館のひろばNo.82	2002.1.1	博物館周辺で暮らすモモンガたち	増田	A4版4P	町内全戸	6,500
ふしぎ博物館No.61	2001.4.1	春植物	内田	A4版1P	町内全戸	広報紙
ふしぎ博物館No.62	7.1	ウトロチャシコツ岬周辺の遺跡群	松田	A4版1P	町内全戸	広報紙
ふしぎ博物館No.63	9.1	シャチ	増田	A4版1P	町内全戸	広報紙
ふしぎ博物館No.64	10.1	紅葉と黄葉	中川	A4版1P	町内全戸	広報紙
ふしぎ博物館No.65	11.1	イカ漁とサンマ漁	宇仁	A4版1P	町内全戸	広報紙
ふしぎ博物館No.66	2002.1.1	斜里神社の石灯籠	中川	A4版1P	町内全戸	広報紙
タンネウシNo.113	4.15	行事案内・博物館情報	澤口	A4版2P	会員	500
タンネウシNo.114	5.15	〃	澤口	A4版2P	会員	500
タンネウシNo.115	6.15	〃	澤口	A4版2P	会員	500
タンネウシNo.116	7.15	〃	澤口	A4版2P	会員	500
タンネウシNo.117	8.15	〃	澤口	A4版2P	会員	500
タンネウシNo.118	9.15	〃	澤口	A4版2P	会員	500
タンネウシNo.119	10.15	〃	澤口	A4版2P	会員	500
タンネウシNo.120	11.15	〃	澤口	A4版2P	会員	500
タンネウシNo.121	12.15	〃	澤口	A4版2P	会員	500
タンネウシNo.122	1.15	〃	澤口	A4版2P	会員	500
タンネウシNo.123	2.15	〃	澤口	A4版2P	会員	500
タンネウシNo.124	3.15	〃	秋山	A4版2P	会員	500
インターネット・ホームページ公開		展示案内，行事案内，出版物他	内田	町内外		



第23回特別展「知床の漁業」図録



博物館のひろば



ふしぎ博物館

8. 文部科学省委嘱「親しむ博物館づくり事業」

委嘱期間 平成13年6月20日～平成14年3月29日

事業内容 名称：海の自然と生活体験事業

なお、平成14年3月に開催された事業発表シンポジウムでの発表ポスターをカラーページで紹介している。
(担当：宇仁)

1) 特別展「知床の漁業」の開催

2) 自然観察会

名 称	日 付	場 所	参加数
・船で行く知床	8月7日	知床半島沿岸	23
・野付湾アザラシ観察会	9月2日	別海町野付湾	16
・サケ・マス遡上観察会	10月21日	斜里町ウトロ幌別川	22
・サケ産卵観察と採卵実習	11月18日	標津サーモン科学館	12
・流水タワーとトッカリセンター	1月27日	紋別市	5
・オジロワシ・オオワシ観察会	2月24日	羅臼町根室海峡	15
・流水の海観察会	3月10日	斜里町ウトロ海岸	24

3) リフォームボランティア

期 日	内 容	参加者	担当
1月18日	日程と内容を説明	25	各学芸員
2月7日	流水ジオラマリフォーム	11	増田
8日	考古・民俗リフォーム	7	松田
9日	流水ジオラマリフォーム	3	増田
14日	流水ジオラマリフォーム	8	増田
22日	竪穴住居模型作り	5	松田
3月2日	流水ジオラマリフォーム	4	増田
8日	竪穴住居模型作り	4	松田
15日	竪穴住居模型作り	1	松田
23日	竪穴住居模型作り	1	松田

9. IT講習会

IT講習会は、「日本新生のための新発展政策」（自治省・平成12年10月19日）に基づき全国で550万人を対象に開催されたもので、インターネットのための基礎技能の修得を内容とした（7月以降は総務省から改善措置があり多様な講習内容が認められた）。斜里町では予算額6,130,000円（10／10道補助金）で、博物館が中心となり、知床博物館、朝日小学校、斜里小学校、斜里中学校、宇登呂小中学校を会場に32講座（1講座は合計12時間）を実施、のべ347人の参加を得た。（担当：宇仁）



IT講習会（博物館ホール）

3. 調査研究・資料収集

1. 調査研究活動

調査名	期間	内容	担当
埋蔵文化財調査			
ウトロチャシコツ岬下B遺跡	5～6月(野外)	ウトロ西下水道工事発掘調査(200㎡)	松田
大栄8・9遺跡	7～8月(野外)	国営畑総道路改良工事に伴う発掘調査(5,072㎡)	松田
オンネベツ川西側台地遺跡	9月(野外)	国道駐車帯設置に伴う発掘調査(280㎡)	松田
ウトロ高原4遺跡	9月(野外)	ウトロ小中学校グラウンド造成工事発掘調査(950㎡)	松田
遺跡B調査	4月	以久科・ウトロ・峰浜地区埋蔵文化財調査	松田
遺跡A調査	7月	美咲地区埋蔵文化財調査	松田
遺跡B調査	10月	朱田地区埋蔵文化財調査	松田
身近な環境調査			
身近な緑地調査(最終年次)	通年	ガツタンコ湿原及びその周辺林の植物調査	内田
特別展資料調査			
斜里・知床の漁業調査	4～9月	歴史調査との漁労活動の写真・ビデオ撮影	宇仁
共同調査			
昆虫生態調査	通年	斜里地域に生息する昆虫の生態調査	松田
ワシ類環境汚染物質調査	通年	環境汚染物質の調査	増田
ワシ類鉛中毒調査	通年	鉛中毒汚染	増田
ヒグマ・シカ調査	通年	動物の生態調査(役場環境保全と共同)	増田
希少植物調査	7月	斜里町の希少植物群落の調査(さっぽろ調査館と共同)	内田
助成研究			
べっ甲調査	10～3月	日本生命財団助成	宇仁
北海道の海獣観察産業調査	7～3月	ノーステック財団助成	宇仁
個別調査			
アライグマ生息実態調査	通年	アライグマの町内分布把握調査	増田

2. 資料収集・保存事業

資料収集では、1970～80年代のテレビキャラクターなどのソフトビニル人形106点など、合計431点、のべ101人から資料の寄贈を受けた。収集資料では、1996年5月に後志支庁寿都町に漂着し埋設されていたコククジラの頭骨および上半身の骨格を黒松内町のブナセンターと共同発掘したほか、町内で初めてアライグマ成獣の死体を収集した。また、博物館に届けられた傷病動物のうち鳥類13羽、哺乳類8頭を資料として受け入れた。

動物資料	植物資料	民俗資料	地学資料	考古資料	その他	合計
40	0	411	0	0	0	451

保存管理

資料分野	期間	内容	担当
歴史資料保存	通年	古文書・古写真の整理	宇仁
各分野の資料受入と保存	通年	資料の収集、整理、保管、登録台帳整備	各学芸員



1970～80年代のソフトビニル人形



コククジラ骨格発掘作業(寿都町)

3. 個別活動

中川 元

1. 報文

中川元 2002 北のいきものシリーズ④オオワシ. 北の自然34:5-6.

2. 館外活動

2001.5.11 北海道老人大学網走校講師「オホーツクの自然について」網走市

2001.9.5 自然公園事務担当者現地検討会講師. ウトロ

2001.10.16 網走土木現業所技術職員研修会講師「自然環境保全と動植物保護」. 網走市

2002.2.10 第2老人クラブ出前講座「知床開拓と自然保護の歴史」. 朝日第2自治会館

2002.2.21 斜里警察署教養セミナー講師「知床の自然」斜里警察署

3. 調査研究

オジロワシの繁殖状況調査4月～8月斜里町及び網走支庁管内オオワシの越冬生態調査. 12月～3月. 北海道東部平成12年度国設知床鳥獣保護区調査(ワシ類生態及び保護管理の現状)12月～3月. 斜里町・羅臼町

松田 功

1. 報文

松田 功. 2002. チャシコツ岬下B遺跡発掘調査報告書. 164pp. 斜里町文化財報告書XVI. 斜里町教育委員会.

松田 功. 2002. 大栄9遺跡発掘調査報告書. 56pp. 斜里町文化財報告XVII. 斜里町教育委員会.

松田 功. 2002. オンネベツ川西側台地遺跡発掘調査報告書. 50pp. 斜里町文化財調査報告XVIII. 斜里町教育委員会.

2. 館外活動

2002.1.24-25道東の前期土器の新資料. 平成13年度第1回北海道埋蔵文化財担当職員研修会「土器分類の実際」. 江別市. 講演.

3. 調査研究

2001.5.8斜里町防風林内昆虫調査. 町内防風林内に棲息する昆虫の調査.

増田 泰

1. 報文

増田 泰. 2001. エコロードから野生動物保護を考える. 琵琶湖研究所報19. 大津: 78-82.

増田 泰. 2001. 北海道のコウモリ2-かけがいのない安住の地よ, 永遠なれ. モーリー4: 49-50.

増田 泰. 2001. エゾモモンガ. しれとこライブラリー4「知床のほ乳類II」. 北海道新聞社. 札幌: 194-229.

増田 泰. 2001. 保護されたエゾタヌキの再放逐とその後の経過について. 知床博物館研究報告22. 斜里: 77-80.

増田 泰. 2001. 斜里海岸で発見されたイヌワシ死体について. 知床博物館研究報告22: 75-76.

2. 館外活動

2001.6.15北海道大学獣医学部非常勤講師 野生生物学総合講義

2001.10.27斜里町におけるオーバブリッジ実践例. 樹上製動物のための「エコ・ブリッジ」ワークショップ, エコブリッジネットワーク, 札幌. 講演.

3. 調査研究

エゾモモンガ生態調査

宇仁義和

1. 報文

宇仁義和. 2001. 「斜里外四ヶ村戸長役場文書」について. 赤れんが22: 81-92. 北海道立文学館. 札幌.

斎藤玲子・宇仁義和. 2001. 更科源蔵をたどる旅-北海道観光における類型化されたアイヌ文化の探求-. 旅の文化研究所研究報告10: 1-14. 旅の文化研究所. 東京.

宇仁義和. 2001. 第23回特別展図録「知床の海獣狩猟」. 36pp. 斜里町立知床博物館. 斜里. (調査執筆作成)

2. 館外活動

2002.2.25 明治以降の北海道の開拓と狩猟第17回北方圏国際シンポジウム分科会「第8回氷海の民シンポジウム」. 紋別市. 講演.

3. 調査研究

・海獣観察産業の発展条件

期間: 2001年5月～2002年3月

助成元: 北海道科学技術総合振興センター若手研究者研究奨励補助金(若-013)

内容: 北海道沿岸のホエールウォッチングやアザラシ観察会などの実態調査と制度的・行政的課題を考察した. 調査地: 斜里町, 羅臼町, 標津町, 別海町, 網走市, 稚内市, 室蘭市, えりも町, 札幌市(以上北海道)

・ベッコウとタイマイの近代史～地球環境問題の歴史的理解～
期間: 2001年10月～2002年9月

助成元: 日本生命財団一般研究助成

内容: 聞き取りと文献調査から, ベッコウの輸入統計の作成と東京・大阪・長崎のベッコウ産業の近代の歩みを調査した. 調査地: 札幌市, 東京都, 京都市, 大阪市, 神戸市, 長崎市, 那覇市, 石垣市, 竹富町

内田暁友

1. 報文 なし

2. 館外活動 なし

3. 調査研究

・斜里町植物相調査(通年)

4. 文化財保護

1) 指定文化財

○北海道指定文化財

名 称	指定年月日	場 所	所有者	面 積
史 跡				
斜里朱円周堤墓および出土遺物	昭和32年（1957）1月29日	朱円西区東一線	斜里町	1.4ha
朱円堅穴住居跡群	昭和42年（1967）6月22日	朱円国有林内	農林水産省	24.2ha
天然記念物				
オシクシクシク粗粒玄武岩柱状節理	昭和48年（1973）3月14日	オシクシク海岸	建設省	2.2ha
斜里海岸の草原群落	昭和25年（1950）8月28日	美咲国有林内	農林水産省	96ha

※所有者が国の文化財の管理団体はいずれも斜里町

○斜里町指定文化財

また、文化4年（1807）斜里地方の沿岸防衛を命ぜられた津軽藩士100余名が厳しい越冬期間中に浮腫病にかかり次々と死亡し、翌年故郷したのはわずかに17名という「津軽藩士の殉難事件」に関連した文化財が6件指定されています。禅龍寺保管の「津軽藩士死没者の過去帳」を除き、町民公園など博物館周辺で公開されています。

名 称	指定年月日	場 所	所有者	種 別
旧斜里神社拝殿	昭和51年（1976）11月8日	本町49番地2 知床博物館	斜里町	建造物
絵馬	昭和51年（1976）11月8日	本町49番地2 知床博物館	斜里町	有形
歌枕額	昭和51年（1976）11月8日	本町49番地2 知床博物館	斜里町	有形
津軽藩士死没者の供養碑	昭和57年（1982）7月1日	本町49番地2 町民公園	斜里町	有形
津軽藩士死没者の供養碑	昭和57年（1982）7月1日	朝日町4番地2	日蓮宗日照寺	有形
津軽藩士死没者の過去帳	昭和57年（1982）7月1日	本町47番地2	曹洞宗禅龍寺	有形
津軽藩士シャリ陣屋跡	昭和62年（1987）7月1日	本町52番地24		史跡
津軽藩士墓所跡	昭和62年（1987）7月1日	本町49番地2 町民公園		史跡
シャリ運上屋（会所）跡	昭和62年（1987）7月1日	港町8番地28		史跡

※斜里朱円周堤墓の出土遺物および上記の町指定文化財3件は、知床博物館で常設展示しています。

2) 登録文化財

旧根北線は、知床半島の基部を横断し北見地方と根室地方を結ぶ路線として昭和13年に着工された。昭和15年には第一幾品川橋梁（通称越川橋梁）が斜里町越川地区に完成。しかし鉄道建設工事はこの年に中断され、橋梁は使われないまま戦後を迎え今日に至った。

越川橋梁は長さ147メートル、高さ21.7メートルの10連アーチ型のコンクリート橋で、コンクリート鉄道橋としては北海道最大である。昭和48年に国道の改良工事によって橋脚の2本が撤去されたが、河畔林など周囲の自然環境にとけ込み、美しい姿を今に留めている。また、戦時下の鉄筋を使用しない構造にも特徴があり、当時の土木技術を現代に伝える建造物である。

登録有形文化財

名称：旧国鉄根北線越川橋梁 平成10年（1998）7月23日 字越川245番8他 斜里町

3) 埋蔵文化財

今年度は公共事業に係る緊急発掘調査を4箇所5遺跡で実施した。遺跡名と調査面積、おもな遺物、特記事項は次のとおりである。(担当：松田)

・大栄8遺跡(3,585㎡)

・大栄9遺跡(5,072㎡)

縄文中期と続縄文文化期の遺物包含地。旧沢地形が残されており、そこから遺物が見つかった。

・オンネベツ川西側台地遺跡(280㎡)

縄文土器、続縄文土器、オホーツク土器、石器、金属製品、陶磁器などが出土した。土器や石器に関しては、包含層からの出土よりはカクラン層出土のものが多かった。近世から明治・大正、昭和期の陶磁器が出土した。

・チャシコツ岬下B遺跡(200㎡)

オホーツク文化期の堅穴住居跡群が含まれており、学術発掘の必要性があると考えられた。縄文後期・晩期・続縄文、オホーツク文化期の土器や石器が出土。

・ウトロ高原4遺跡(950㎡)

縄文早期・前期の遺物出土。縄文前期のキャンプサイトと考えられる。

<以上、調査報告書「抄録」より>



チャシコツ岬下B遺跡から出土した、牙製ラッコ像(左)と土製カエル像(右)

平成13年度活動報告(81~96P)

平成13年度「親しむ博物館づくり」シンポジウム(2003.3.19)発表ポスター

知床の海の自然と生活体験事業

事業のポイント

知床博物館では、知床半島を活動の場として、ヒグマやオジロワシ・オオワシ観察会などの原生的な自然を活かした野外事業を実施してきた。陸の自然を対象にした活動に蓄積ができてきたため、近年は活動の場に海を加えつつある。しかし海の自然観察は、観察船や特殊器具の借上代などが必要で、博物館あるいは個人的にも金銭的負担が大きく、実施が困難であった。

一方、常設展示室は開館後23年を経て、老朽化と内容の見直しが必要となってきた。それとともにこの数年は入館者数の減少が見られることから、展示改訂作業をボランティアで行うこととした。その過程で、町民自らの参画実感と手作り展示品を展示することで来館機会の増大を目指した。また、展示資料には実物を比較検討して購入すべきものが多く、大規模店からの直接購入が望まれていた。

今回の「親しむ博物館づくり事業」はこれらの課題の解決に大きく役立った。

参加状況

体験講座 7回実施、参加者数のべん147人(一般62・中学生3・小学生82)
展示ボランティア 説明会 参加人数25人(一般24・高校生1、17~74歳)
作業継続中

・体験講座

○船で行く知床

8月7日、知床半島沿岸、参加者数：23人(一般8・小学生15)

斜里町ウトロ港を出港し、知床半島沿岸を知床岬まで観察船で往復した。往路はサケ定置網や行き交う漁船など漁業、奇岩にまつわる伝説を解説した。このコースはこれまでも観察会を実施しているが、今回は実験的に通常よりも沖側に復路をとったところシャチの3~4頭の群が観察できた。



○野付湾アザラシ観察会

9月2日、別海町野付湾、参加者数：16人(一般14・中学生1・小学生1)

別海町尾岱沼港から観光船で野付湾を横断し、湾内にあるゴマファザランの上陸場を観察した。チャーター船を使い、上陸場の近くに船体を乗り上げて停船することで、アザラシにストレスを与えずに長時間観察することができた。その後、北海道最大の砂嘴である野付半島のトドワで下船し植物観察を行った。



○サケ・マス遡上観察会

10月21日、斜里町ウトロ幌別川、参加者数：22人(小学生22)

斜里町の基幹漁業のサケ・マス漁に関連して、サケ・マス類の自然産卵の観察を目的に実施した。しかし、カラフトマスとシロザケの遡上時期の端境期にあたってしまい、産卵行動は十分には観察できず、遡上の様子の観察となった。

○サケ産卵観察と採卵実習

11月18日、標津サーモン科学館、参加者数：12人(一般10・中学生1・小学生1)

隣町の博物館施設の協力を得て、屋外水槽のサケの産卵行動観察と解剖、人工授精を体験した。産卵行動は待ち時間15分ほど始まり、口を開けヒレをふるわせ精子で水が白く濁る様子が観察できた。人工授精は生きたサケを捧でたたくところから開始し、腹を剖いて卵を取り出し、精子を挿入することを実習した。解剖では脳と内臓、うろこの年輪などを観察した。



○オホーツク流水タワーとトッカリセンター

1月27日、紋別市、参加者数35人(一般16・小学生19)

紋別港にある流水タワーでは海中にある観察窓からホヤやウニ、ウミウシやヤドカリの生態を観察した。トッカリセンターでは飼育中のアザラシを至近距離から観察し、オスとメスの違い、前進の仕方などの行動を学び、身体に触れることができた。

○オジロワシ・オオワシ観察会

2月24日、羅臼町根室海峡、参加者数15人(小学生15)

この時期、オホーツク海側にあたる斜里の海は全面結氷して生き物の姿がきわめて少ない。しかし、知床半島と国後島に挟まれた羅臼側は開放水面が大きくあり、また漁業も行われ網からこぼれる魚に海ワシが集まる。観察会ではワシ類のほか、アザラシやトドなどの海獣を観察した。



○流水の海観察会

3月10日、斜里町ウトロ海岸、参加人数：24人(一般14・中学生1・小学生9)

ドライスーツを着用し、接岸した流水上をき海に浮かんでクラゲやプランクトンなどの小動物を観察した。観察動物はクシクラゲ、ウミグモ、ヤムシなどでクリオネの餌となるミジンウキマイマイといった流水期にのみ観察される種が含まれた。



・常設展示室改訂作業(参加体験型展示の調査・研究)

10~11月に開催した特別展「知床の漁業」での作業成果と展示状況をふまえて町民参加で展示改訂を企画した。常設展示のうち歴史・民俗部門の内容は、開拓時代を振り返るものであり、現代の小学生の親子が会話をするには古すぎる。そこで展示の一部には親世代の子ども時代に相当する昭和30~40年代の居間ジオラマの製作を取り入れた。また年間テーマの海に関しては、「もっこ」などの仕事道具、漂着ミンクジラの骨格標本など一部は「さわれる展示」とする。

○説明会「博物館みんなでリフォームしましょ！」

1月18日、場所：博物館会議室、参加者数25人(一般24・高校生1)

○作業 現在継続中、実施内容：イシルカ・ミンクジラ展示模型作成、堅穴住居模型作成、展示パネル作成など

